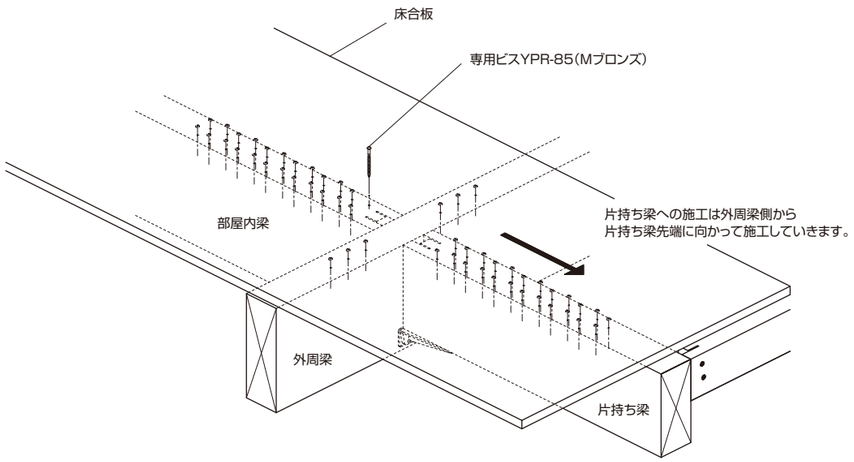
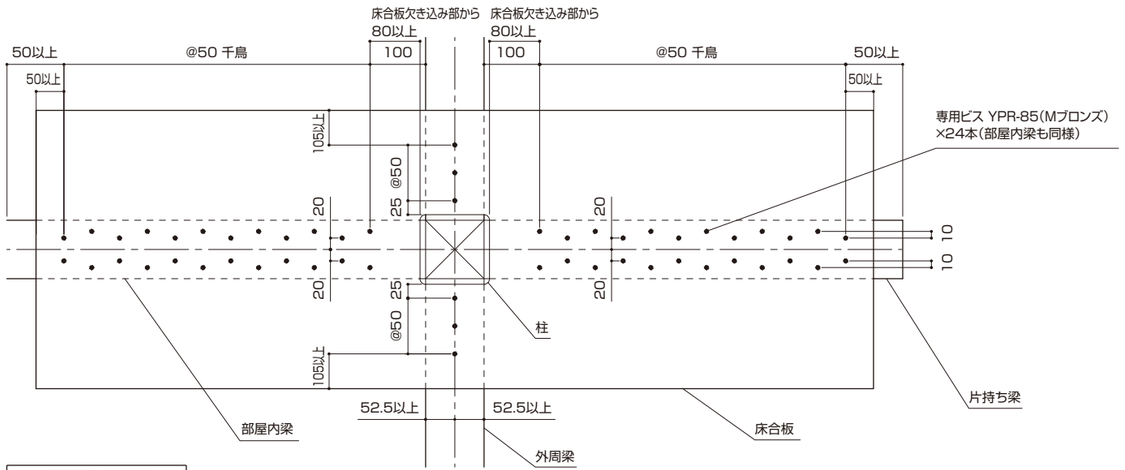
施工方法

中面 の続き

⑤床合板に専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工します。

・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）は下図のように施工します。
・最初に部屋内梁と外周梁に施工し、最後に片持ち梁に施工します。
・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）の本数・ピッチは下記を確認し、正確に墨出しをしてください。
・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）の他に、水平構面用の釘の施工は通常通り（ビス施工に加えて）行ってください。
・片持ち梁には、外周梁側から片持ち梁先端に向かって施工してください。この場合に限り、専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工した位置より外周梁側には乗ることができます。





ビスの必要本数	
片持ち梁	24 本
外周梁	6 本
部屋内梁	24 本

K20241227A

BXカネシン株式会社

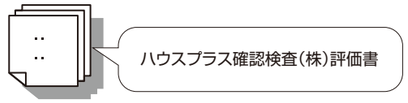
営　業　本　部 ／ 〒124-0024　東京都葛飾区新小岩1-53-10　朝日生命新小岩ビル3階　Tel.03-3696-6781　Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は ／ BXカネシンCSセンター　Tel.03-5671-1077

プレセッターSU片持ち梁金物　取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用　途

■ BXカネシン金物工法「プレセッターSU」で、片持ち梁を支える金物です。



特　長

■ 従来の持ち出し梁と併せることで2方向（回り）バルコニーを実現することができます。
■ 積雪等の荷重条件が厳しい場合に、梁成を低く抑える効果が期待できます。
■ 片持ち梁の長さは最大1,000mmまで対応できます。

構 成 品

1セットの内訳表

	名称	数量（1セット）
本体	①PSC-アングル	1個
	②PSC-プレート	1枚
付属品	③専用ビス YPR-85（Mブロンズ）	72本

注意事項

■ 必ず付属の専用ビスで床合板と梁を接合してください。金物だけでは片持ち梁を支えることはできません。
■ ご使用前に必ずホームページの「プレセッターSU片持ち梁金物マニュアル」をご確認ください。
■ プレセッターSU梁受金物は、最新のプレセッターSUマニュアルに記載される使用方法、注意事項をよく読んでご使用ください。
■ 使用箇所は片持ち梁の安全性のため、マニュアルに沿い検定してください。ホームページのユーザー専用サービスに検定ツールをご用意しています。
■ 床合板･梁の必要寸法、耐力数値は「プレセッターSU片持ち梁金物マニュアル」をご確認ください。
■ 防水処理を施すまでは、ブルーシート等を使用して水がかりのないように注意してください。
■ 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の効果が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク（ねじ込み）を加えないでください。
■ ビス接合用の四角ビット（#3）は別売品です。
■ ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
■ ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
■ 金物は所定の位置に取り付けてください。
■ 金物の干渉に注意しご使用ください。
■ 接合･締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
■ 現場で防腐･防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
■ 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
■ 目的用途以外には使用しないでください。

⚠ 施工が完了するまでは片持ち梁に乗ったり、物を載せたりしないでください。

施工方法は **中面** をご覧ください。

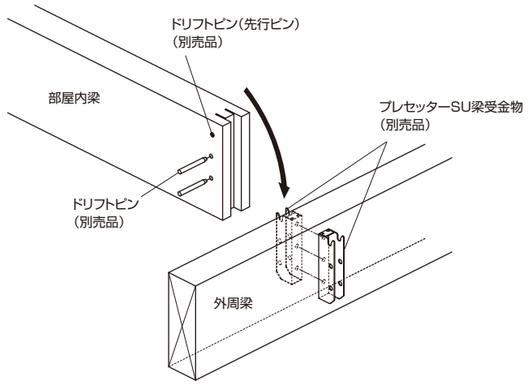
施工方法

⚠ 施工が完了するまでは片持ち梁に乗ったり、物を載せたりしないでください。

① 外周梁に部屋内梁を接合します。

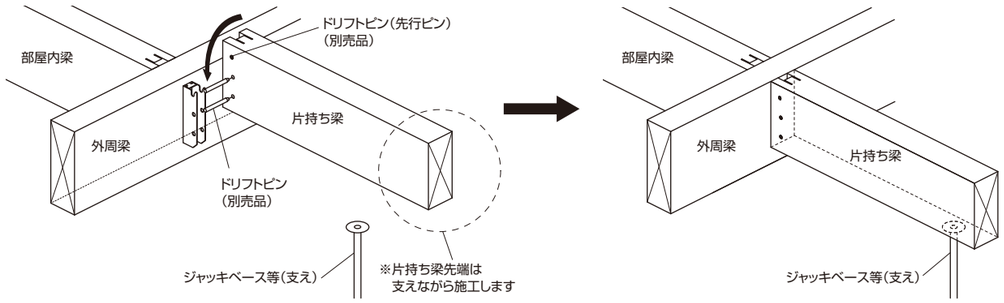
・外周梁と部屋内梁をドリフトピン（別売品）で接合します。

⚠ 部屋内梁、片持ち梁を外周梁にかける際には、かけや等でたたかないでください。梁が割れる恐れがあります。



② 外周梁に片持ち梁を接合します。

⚠ 「施工方法②～⑤」は必ず同日に行ってください。

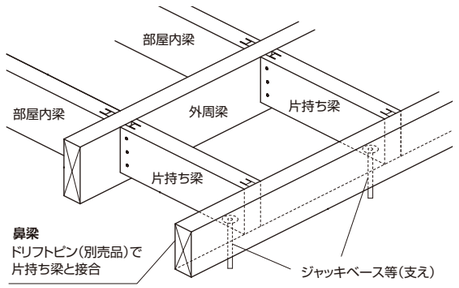


③ 鼻梁（片持ち梁先端にかける梁）を施工します。

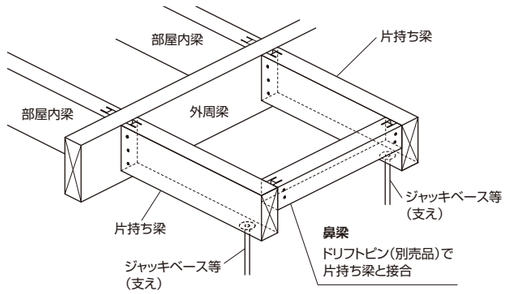
・鼻梁と片持ち梁をドリフトピン（別売品）で接合します。

⚠ 外周梁に片持ち梁を接合した後も、全工程が終わるまで支えは外さないでください。

鼻梁勝ちの場合



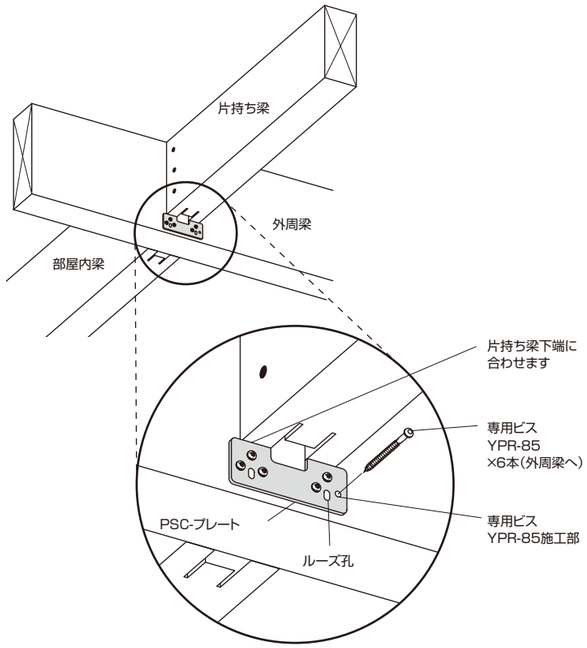
鼻梁負けの場合



④ プレセッターSU片持ち梁金物を接合します。
（ビスの施工順がありますので、下記の順番通りに施工してください。）

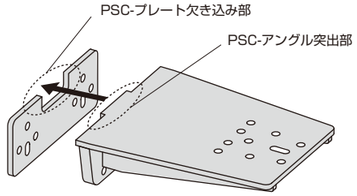
〈1〉PSC-プレートを接合します。

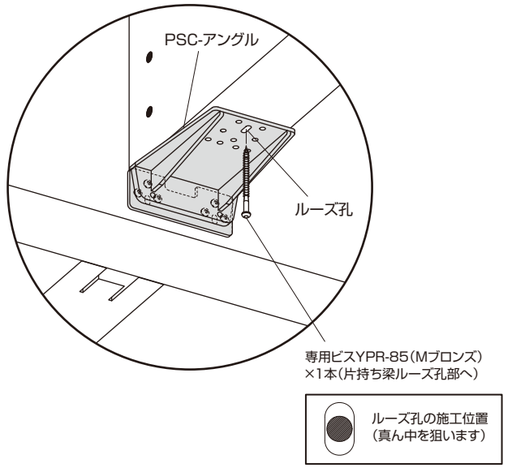
・PSC-プレートの欠き込み部の幅と片持ち梁のスリット加工幅の位置を合わせ、片持ち梁下面にぴったりとくっつけてΦ2.5mm程度の先孔をあけ、専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工します。
・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）の施工部は6か所あります。(ルーズ孔には施工しません。)



〈2〉PSC-アングルの片持ち梁側にあるルーズ孔に専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工します。

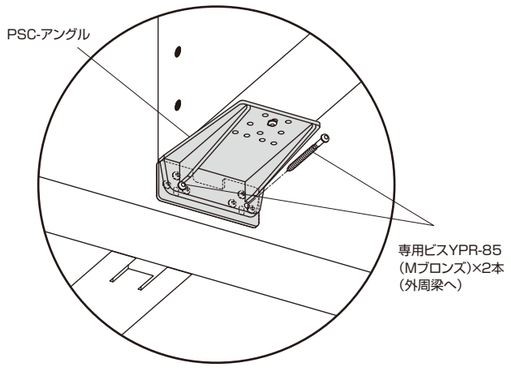
・PSC-アングルの突出部をPSC-プレートの欠き込み部に納め、PSC-プレートに押し付けながら施工します。



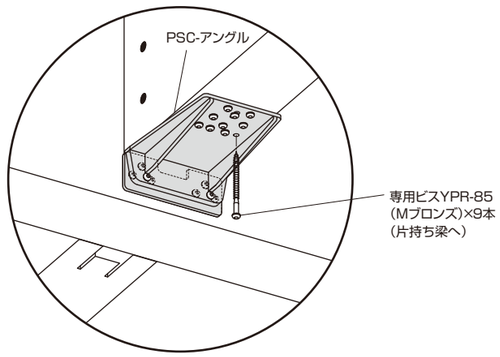


〈3〉PSC-アングルの外周梁側の孔（2箇所）に専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工します。

・強めにビスを締め付けてください。



〈4〉PSC-アングルの片持ち梁側にある残りの孔(ルーズ孔以外)に専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工します。



裏面 へ続く